

件名／海洋プラスチックに関する Q&A を更新しました【海渚レター No. 60】

ハ～イ、かもめちゃんだよ。

みなさんお元気ですか！！

4 月になって、寒い日と暑い日が順番に来て、カモメちゃんも服選び大変です。

春雨の時季でもあるし、体調崩さないように気を付けましょう！！

さてさて、今回は海洋プラスチックに関する Q&A を紹介するよ。

海ごみ Q&A の一部を更新したので、それを紹介します。

漂着ごみの中に網とかロープを見つけるとぜ～んぶ漁師さんが捨てたものだと思っていま
せんか？

ちょっと待って、漂着ごみの 7-8 割は陸上から来ると言われてるんだよ！！

身の回りにも網やロープがあるでしょ。

それらをここでは「漁具もどき」と呼んでいます。また、

漁具と「漁具もどき」の浮遊率の違いや、海岸漂着プラごみについては外国起源の割合と日
本起源の割合についても触れてみたよ。

問 16 「漁具もどき」は、毎年、どの位生産されていますか。と

問 17 海岸・海面・海底から回収される漁業系プラごみといわれているもののうち、「漁具
もどき」の割合はどの位ですか。

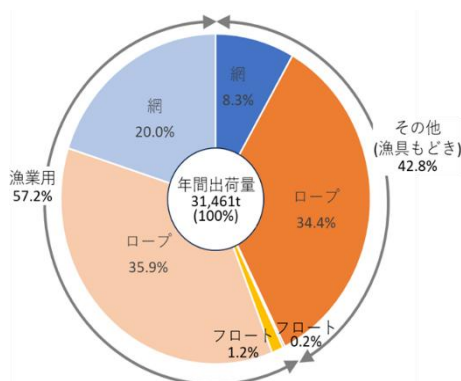
について紹介するね。

問 16 「漁具もどき」は、毎年、どの位生産されていますか。

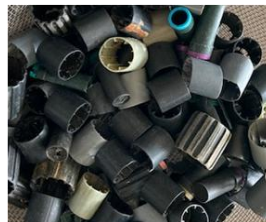
注)「漁具もどき」は当機構の新規造語で、社会一般で通用している用語ではありません。

(答)

1. 「漁具もどき」とは、海岸や海面などで一見すると、漁具だと勘違いしてしまう「網」、
「ロープ」、「ブイ・フロート」のことです。これまで、「漁具もどき」は、海岸等で海洋プ
ラゴミを回収した際、「漁具」に分類され、漁業系プラゴミの量が「嵩まし」されていまし
た。以下の計算から、「漁具」の年間出荷量は 17,986 トン(57%)、「漁具もどき」の年間出
荷量は 13,475 トン(43%)で、両者はほぼ拮抗しています。



年間出荷量の比較(漁具とその他(漁具もどき))



陸上で使用されている網、ロープ

下水処理で使用されている担体

2. 2019 年の経産省「生産動態統計年報 繊維・生活用品統計編」では網を「漁網」、「陸上網」の 2 つに分けています。2019 年の各々出荷量は漁網が 6.3 千トンで 71%、陸上網が 2.6 千トンで 29%です。

3. ロープ(合成繊維)については、上記の統計では、2019 年の出荷量+在庫量は 20,300 トンですが、内訳がありません。一方、業界団体からの聴き取りによれば、2020 年のロープ生産量は 22,110 トンで、用途別の内訳は漁業向け資材 11,300 トン(51%)、造船・船舶向け資材 5,440 トン(25%)、その他産業向け資材等が 5,370 トン(24%)です。両者とも全体の数字は概ね同じで、業界団体からの聴き取りの数字は信頼性に高いものと考えられます。漁業向けのロープは全体の半分の 5 割です。残り半分(5 割)は漁業以外で使用されていることになります。

4. ブイ・発泡フロートについては公式統計の数字はありませんが、業界から聴き取った発泡フロートの数字によれば、2021 年の養殖向けは 386 トン(個数で 98 千個)、オイルフェンス等向けは 65 トン(個数で 53 千個)で全体では 452 トン(個数で 151 千個)です。漁業以外の利用は全体の 14%(個数では 35%)になります。

5. 以上のことから、重量ベースで網は漁業以外の利用が 3 割、ロープは漁業以外の利用が 7 割、発泡フロートについても 1.4 割が漁業以外の利用であることから、これら 3 種を全て漁業系プラごみに区分するのは妥当ではありません。

6. なお、環境省は、令和 5 年 6 月から、「発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)」、「発泡スチロールの破片」及び「釣具」を「漁具」のグループから外しています。次は「ロープ・ひも」、「漁網」を「漁具」のグループから外す番です。

(現) 漂着ごみの分類表

令和5年6月第3版

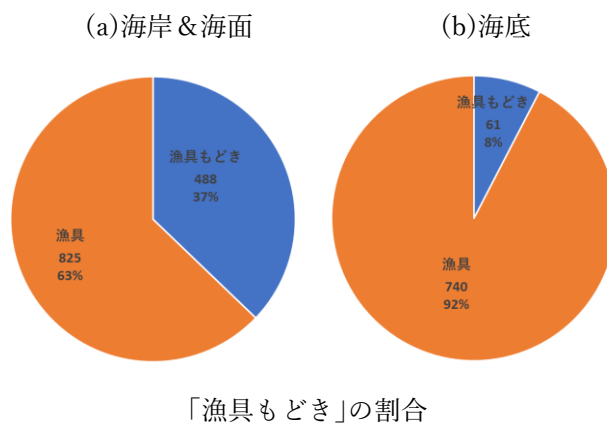
大分類	必須項目	オプション項目	ブラ分類
プラスチック類	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	容器包装
	ボトル<1L	飲料用(ペットボトル)<1L	容器包装
		その他のプラボトル<1L	容器包装
		飲料用(ペットボトル)≥1L	容器包装
		その他のプラボトル類≥1L	容器包装
	ストロー	ストロー	製品
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	製品
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	コップ、食器	製品
		食品容器	容器包装
	ポリ袋(不透明、透明)	食品の容器包装	容器包装
		レジ袋	容器包装
		その他プラスチック袋	容器包装
	ライター	ライター	製品
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	製品
	シートや袋の破片	シートや袋の破片	その他
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片	その他
	ウレタン	ウレタン	その他
	浮子(ブイ)(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	海域由来
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	海域由来
	アナゴ簗(フタ、筒)(漁具)	アナゴ簗(フタ、筒)(漁具)	海域由来
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	海域由来
	カキ養殖用パイプ(長さ10~20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10~20cm)(漁具)	海域由来
	漁網(漁具)	漁網(漁具)	海域由来
	その他の漁具(漁具)	かご漁具	海域由来
		その他の漁具	海域由来
	釣具	釣りのルアー、浮き	海域由来
		釣り糸	海域由来
		その他の釣具	海域由来
	たばこ吸殻(フィルター)	たばこ吸殻(フィルター)	製品
	生活雑貨(歯ブラシ等)	生活雑貨(歯ブラシ等)	製品
	薪木ボット	薪木ボット	製品
	その他	花火	製品
		玩具	製品
		プラスチック梱包材	容器包装
		シリンジ、注射器	製品
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	品目による
		その他	品目による
		その他	品目による
プラスチック類 (発泡スチロール)	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)	容器包装
		コップ、食器(発泡スチロール)	製品
	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	海域由来
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片	その他
	発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材	容器包装
	その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載	品目による
		その他	品目による

出典：環境省「地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン」

問 17 海岸・海面・海底から回収される漁業系プラごみといわれているもののうち、「漁具もどき」の割合はどの位ですか。

(答)

1. 結論から言えば、海岸漂着ごみと海面浮遊ごみに占める「漁具もどき」の割合は 37%、海底ごみに占める「漁具もどき」の割合は 8%です。以下の 2 以降は詳細です。



2. 問 16 のとおり、網の 29%、ロープの 49% (内訳は造船・船舶向け 25%、その他産業向け(陸上向け)24%)、ブイ・フロートの 14%は漁業以外で使用しています。また、流出後の浮遊率は、漁業用以外のものの方が高く、網で 50% (推定)、ロープで 92%です。(ブイ・フロート 100%)

3. 海洋への流出率を陸上起源は 0.75% (日本で発生するプラごみ年間 800 万トンのうち 6 万トンが海洋流出)、海上起源は 8.7% (問 13 の年間漁具購入量 2 万トンのうち 1,740 トンが海洋流出) とすると、

①網の海洋への流出量は、漁業用 548 トン、陸上用 20 トンです。

②ロープは、造船・船舶向けロープの海洋流出率は漁業と同じ 8.7%、その他産業向け(陸上使用)は 0.75%とすると、海洋流出量は、漁業用 983 トン、造船・船舶用 473 トン、その他産業向け(陸上使用)40 トンです。

③ブイ・フロートについては、漁業用もその他用も、海洋で使用することに変わりはないので、海洋流出率を双方同じ 8.7%とすると、海洋流出量は、漁業用 34 トン、その他用 6 トンです。

④上記①から③を合計すると、1 年間の網、ロープ及びブイ・フロートの海洋流出量は 2,104 トンです。内訳は、漁具 1,565 トン、「漁具もどき」 539 トンです。

4. 次に海洋へ流出した網、ロープ及びブイ・フロートの海面浮遊率は、

①漁業用の網、ロープ及びブイの海面浮遊率は、問1から網は24%、ロープは67%、ブイは100%ですから、海洋に流出した漁業系プラごみのうち海底に沈まず浮遊又は海岸に漂着した数量は網が132トン、ロープが659トン、ブイ・フロートが34トン、合計で825トンになります。

②一方、「漁具もどき」に分類される網、ロープ及びブイの海面浮遊率は、網50%、ロープ92%、ブイ100%ですから、海洋に流出した「漁具もどき」のうち、海底に沈まず浮遊又は海岸に漂着した「漁具もどき」の数量は、網が10トン、ロープ472トン、ブイ・フロート6トン、合計で488トンになります。

③上記①及び②から、1年間に海洋に流出した網、ロープ及びブイのうち、海岸に漂着した数量は1,093トン（網118トン、ロープ942トン、ブイ・フロート33トン）で、このうち「漁具もどき」は406トンで、全体に占める割合は37%(約4割)になります。

④海面を浮遊している日本起源の網、ロープ、ブイ・フロートについても、「漁具もどき」の割合は、海岸と同じ37%(約4割)で、数量は82トンになります。

⑤海底に沈み堆積している日本起源の網、ロープ、ブイ・フロートに占める「漁具もどき」の割合は、海岸や海面と異なり少なく8%(総量は61トン)です。内訳を見ると、網436トンのうち「漁具もどき」は20トン、ロープ365トンのうち「漁具もどき」は41トンに過ぎません。逆に海底では、漁業用の網・ロープが全体のほとんど92%(740トン)を占めます。なお、ブイ・フロート（原料はABS、ポリエチレン、塩ビなど多様。素材により破片が沈んだり浮いたりする）は割れて破片にならない限り、海底には堆積しません。海岸や海面と異なり、目で見ることができない海底の実態が、一刻も早く船舶を使った海底調査により明らかになることを期待します。（海底には毎年日本で発生する陸域起源の海洋プラごみ6万トンのうち94%の56,400トンが堆積し続けていることを忘れてはいけません。漁業起源のプラごみは、わずか740トンです）

5. 問7の結果を踏まえれば、日本の海岸に漂着するプラごみのうち、日本の漁業者が出しているプラごみは全体の3%に過ぎないことになります。（日本の海岸に漂着する網、ロープ及びブイ、フロートに限れば、全体の91%は外国起源、4%は国内起源の「漁具もどき」で、漁業起源は5%に過ぎません）

6. 以上からお分かりのとおり、日本の漁業者が不当な「濡れ衣(日本の海洋プラごみ汚染の主犯は日本の漁業者)」を着せられているのは、とても気の毒です。この事実を多くの方に知っていただき、残念な誤解を1日も早く解きたいものです。

それでは、かもめちゃんへの感想、御意見、大歓迎だよ。待っているよ！

興味があったら、海洋プラスチックに関する Q&A のオリジナル版がホームページに載っているから、こちらもぜひぜひ見てみてね。

<https://www.umitonagisa.or.jp/plastic-trash/>

バックナンバーはこちらから見てね。

<https://www.umitonagisa.or.jp/mm/>

★かもめちゃんからのお知らせ

海岸清掃の報告や油防除に関する講習会など Twitter で最新情報をチェック

<https://twitter.com/umitonagisa>

海浜清掃ハンドブック 海浜清掃は安全第一！

<https://www.umitonagisa.or.jp/clean-up/>

漁業系海洋プラスチックごみについて知りたければこちら！

<https://www.umitonagisa.or.jp/plastic-trash/>

★皆様へのお願い

現在、当機構の活動を支援していただけるスポンサーを募集しています。

支援対象は全国の海浜清掃活動及び地域の小規模な草の根活動の支援、

プラゴミ処理機械の普及活動などです。

詳細については、お手数ですが、当機構事務局までお問い合わせください。

新規登録又は配信停止（登録解除）をご希望の方はこちらからお手続きください。

<https://www.umitonagisa.or.jp/mm/>



公益財団法人海と渚環境美化・油濁対策機構

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-24

TEL 03-5800-0130 FAX 03-5800-0131

<https://www.umitonagisa.or.jp/>
